



主要な農作物の生育情報

令和元年度 第4号

(令和元年7月5日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水 稲

7月2日現在の農業総合センターの生育調査によると、本部（郡山）では、平年より草丈は短く、茎数は多く、主稈葉数はやや少なく、葉色は濃くなっています。会津地域研究所（会津坂下）では、草丈は平年並、茎数は平年より少なく、主稈葉数は少なく、葉色は濃くなっています。浜地域研究所（相馬）では、平年より草丈は短く、茎数は多く、主稈葉数は平年並、葉色は品種間差がある状況です。コシヒカリの主稈出葉からみた生育は、本部と会津地域研究所では平年より最大3日の遅れ、浜地域研究所では1日早くなっています。今後の天候によりますが、幼穂形成始期は各地域とも平年並と見込まれます。

また、7月4日現在、本田の葉いもちの確認されていません（病害虫防除所調べ）。

表1 水稻の生育状況（※）

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	7月2日調査				幼穂形 成始期 (月.日)
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (枚)	葉色 (SPAD502値)	
本 部	コシヒカリ	5.15	47.4 (98%)	722(108%)	9.6 (-0.1)	40.6 (+4.2)	- (7.19)
	ひとめぼれ	5.15	43.9 (92%)	751(109%)	9.7 (-0.1)	41.9 (+3.5)	- (7.12)
	天のつぶ	5.15	45.5 (90%)	639(106%)	9.1 (-0.2)	43.1 (+2.9)	- (7.12)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.20	54.6 (101%)	654(88%)	10.0 (-0.3)	42.1 (+4.5)	- (7.15)
	ひとめぼれ	5.20	52.8 (100%)	739(92%)	10.1 (-0.2)	44.9 (+4.2)	- (7.8)
	天のつぶ	5.20	55.1 (101%)	634(87%)	9.5 (-0.3)	46.5 (+4.1)	- (7.11)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	55.3 (95%)	799(106%)	9.7 (0.0)	37.9 (+0.7)	- (7.14)
	ひとめぼれ	5.10	55.8 (96%)	820(106%)	9.8 (0.0)	39.9 (-0.6)	- (7.6)
	天のつぶ	5.10	54.1 (93%)	778(109%)	9.3 (-0.1)	41.8 (-0.2)	- (7.6)

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

葉色は、SPAD502による測定値。7月2日調査の（ ）内の数字は、前5ヶ年平均値との比較値を示す。幼穂形成始期の（ ）内は平年値を示す。

2 大 豆

標播、晩播とも、出芽は良好です。播種後の降水量が多くなっており、湿害の発生が懸念されます。

表2 大豆の生育状況（※）

調 査 場 所	品 種	播種 時期	播植期 (月.日)	出芽期 (月.日)	出芽日数 (日)
本 部	タチナガハ	標播	5.31 (-1)	6.7 (-5)	7 (-5)
		晩播	6.18 (-1)	6.25 (-1)	7 (±0)
会津地域研究所	あやこがね	標播	5.30 (-1)	6.8 (-2)	9 (-1)
		晩播	6.20 (±0)	6.25 (-2)	5 (-2)
浜地域研究所	タチナガハ	標播	6.13 (+2)	6.22 (+3)	9 (±0)
		晩播	6.26 (+2)	7.2 (+2)	6 (±0)

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

()内の数字は、前5ヶ年平均値との差を示す。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

5月下旬定植の露地栽培の生育は主枝摘心が終了し、収穫は主枝中段から上段となっています。梅雨入り後の曇雨天の影響により、側枝発生の勢いは鈍くなっています。病害はうどんこ病、斑点細菌病が発生しています。

2 夏秋トマト

4月中旬定植作型は、1～2段収穫と平年並で、7～8段花房開花となっています。現在、曇雨天の影響により着色が遅く、着果負担となっています。

病害は灰色かび病、害虫はアザミウマ類、コナジラミ類が発生しています。

3 さやいんげん

5月下旬定植の露地栽培は、順調な生育となっており、平年並の6月下旬より収穫が始まりました。安定した着莢となっており、今後の出荷量増加が見込まれます。

4 夏秋ピーマン

4月下旬定植のトンネル栽培の収穫は、平年並の6月中旬より始まりました。降雨もあったことから尻腐果の発生も少なく、今後の出荷量増加が見込まれます。

【果樹】（7月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

暦日比較では、「あかつき」は縦径が51.7mmで平年比110%、側径が52.2mmで平年比116%と平年より大きく、「ゆうぞら」は縦径が50.4mmで平年比110%、側径が49.3mmで平年比120%と平年より大きい状況です。また、生育日数による比較でも、「あかつき」、「ゆうぞら」ともに平年より大きい状況です。

DVRモデルによる「あかつき」の収穫予測では、本年の収穫開始は7月29日頃、収穫盛りは8月2日頃で、平年より4日早い見込です。

2 なし

7月1日の暦日比較では、「幸水」は縦径が36.6mmで平年比116%、横径が43.6mmで平年比118%と平年より大きく、「豊水」は縦径が38.1mmで平年比115%、横径が41.5mmで平年比118%と平年より大きい状況です。また、生育日数による比較では、「幸水」、「豊水」ともに平年より大きい状況です。

DVRモデルによる「幸水」の収穫予測は、収穫盛期が8月26日（満開後126日）と推測され、平年より5日早い見込みです。なお、同モデルによる裂果初発日は7月10日（満開後79日）と推測されます。

3 りんご

暦日比較では、「つがる」は縦径が59.1mmで平年比121%、横径が63.1mmで平年比116%と平年より大きく、「ふじ」は縦径が47.8mmで平年比109%、横径が49.5mmで平年比107%と平年よりやや大きい状況です。また、生育日数による比較でも、「つがる」、「ふじ」ともに平年より大きい状況です。

【花き】

1 キク類

7月咲きは6月6半旬より出荷が開始し、草丈が平年並～やや短いとなっています。

8月咲きは、定植後の適度な降雨により生育は平年並、発雷は平年並～やや遅れとなっています。

9月咲きは、生育は良好で平年並です。

害虫は、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、オオタバコガ等の発生が一部産地で増えてきており、病害は、白さび病等の発生は一部の地域で見られています。

2 リンドウ

極早生品種は、6月下旬から出荷が始まり、平年並です。また、早生品種は、降雨が続いたため、

草丈は平年以上となっています。

病害虫は、降雨が続いたため黒斑病の発生が見られ、アザミウマ類やリンドウホソハマキの被害が増えてきています。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、1番草において5月中・下旬から収穫作業が行われ、収量は平年並、品質は良好な状態です。2番草の生育は再生期から出穂期にあり、7月中旬以降に収穫期となる見込みです。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、5月中旬から播種作業が行われ、6～10葉期前後で、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyuhou>